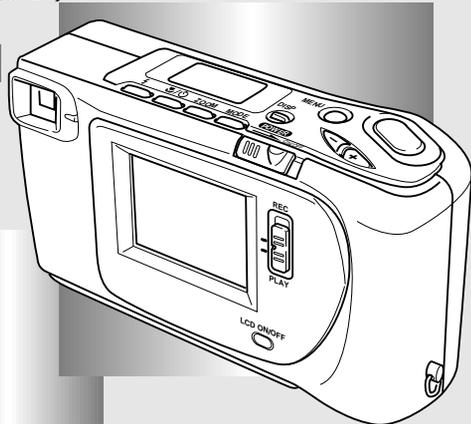


# QV-5000SX

取扱説明書（保証書付き）



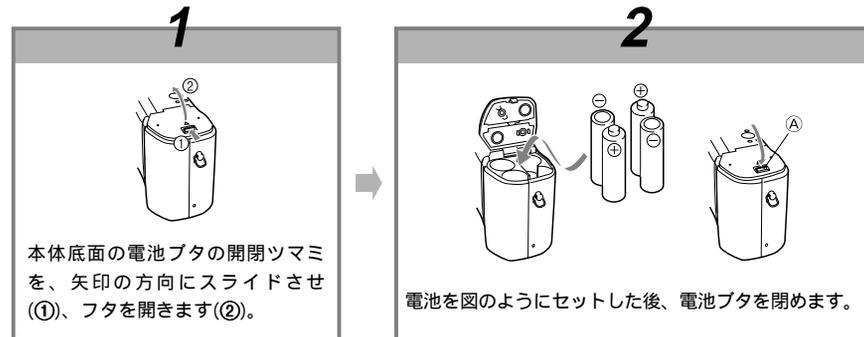
**ごあいさつ**  
 このたびはカシオ製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。  
 本機は、撮影した内容をお場で見ることが出来る液晶カラーモニターを備えた、コンパクトタイプの液晶デジタルカメラです。本機をご使用になる前に、必ず、別紙の「安全上のご注意」をお読みになり、本書とともにお読みになった後も、大切に保管してください。

**CASIO**

## 早分かりガイド

電池を入れる（詳細は17ページ参照）

ご使用前に、必ず付属の単3型の電池をセットしてください。



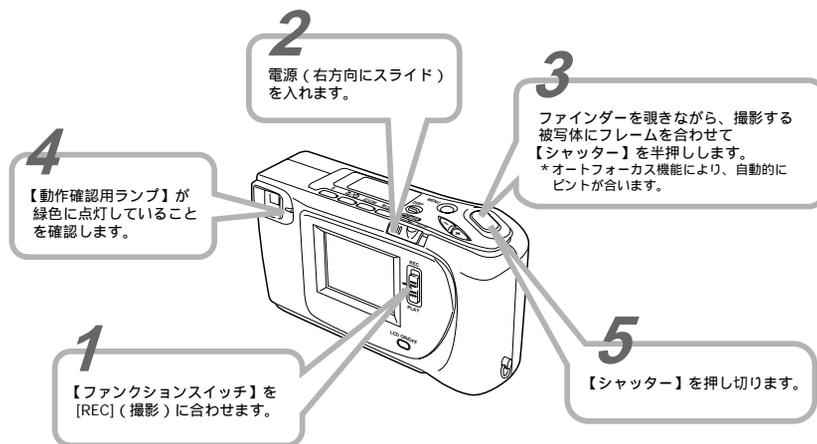
本体底面の電池プタの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ(①)、プタを開きます(②)。

電池を図のようにセットした後、電池プタを閉めます。

- 必ず単3型のアルカリ電池および、リチウム電池、指定の充電電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- ツマミ部分が「パチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 電池プタの先端(Ⓐの部分)を押すと簡単に閉めることができます。

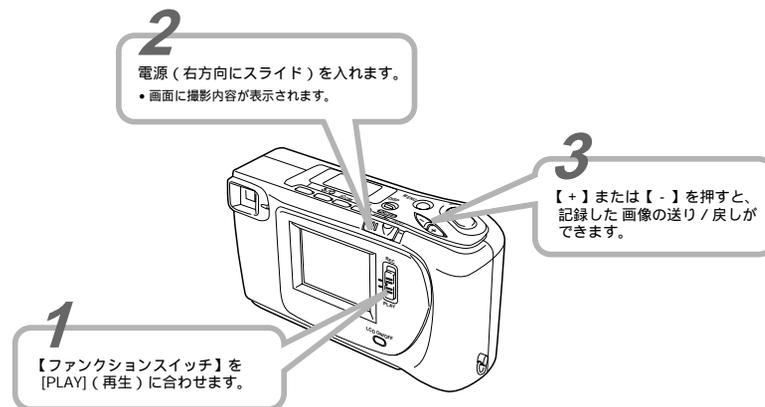
## 早分かりガイド

撮影するには（詳細は22ページ参照）



## 早分かりガイド

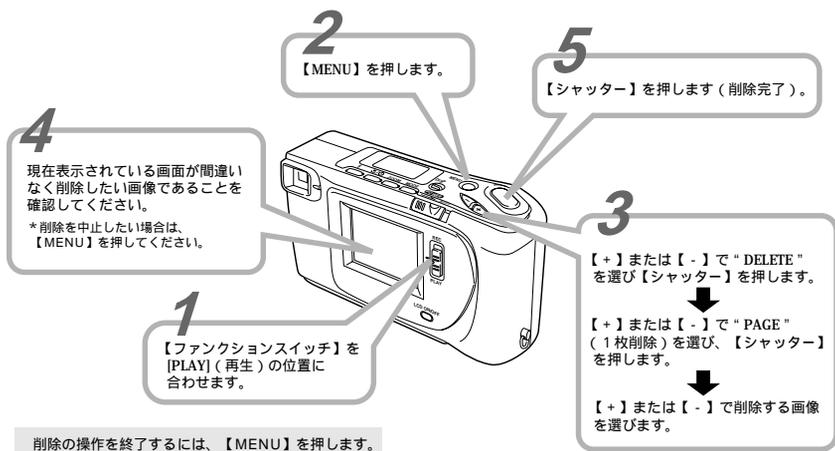
撮影した内容を見るには（詳細は33ページ参照）



本機には、デモ用の画像が記録されている場合があります。不要の場合は、削除してください。

## 早分かりガイド

いらぬ画像を削除するには(詳細は50ページ参照)



5

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部又は全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

6

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ他社の商標です：Windowsはマイクロソフト社の商標です。Macintoshは米アップルコンピュータ社の商標です。その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

## 目次

早分かりガイド	2
本機の特徴	8
使用上のご注意	9

はじめに	11	付属品の確認	12
		各部の名称	13
		画面情報表示	15
		電源について	17
操作のしかた	21	撮影する	22
		その他の撮影方法	28
		再生する	33
		撮影した画像を編集する	42
		メモリープロテクト機能について	48
		画像を削除する	50
		画質を変換する	53
さまざまな機器との接続	55	接続に使う端子について	56
		接続のしかたと操作	58
ご参考、および保証等について	61	故障とお思いになる前に	62
		主な仕様 / 別売品	66
		保証とアフターサービスについて	68
		保証規定	69
		サービスステーション / 相談窓口一覧	70

7

## 本機の特徴

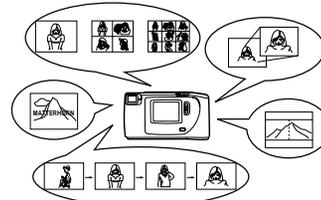
携帯性にすぐれた小型・軽量サイズ

モニター一体型のコンパクトカメラサイズを実現しました。



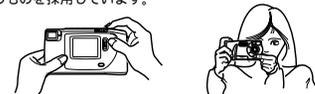
ムービー/パノラマなど多彩な機能を搭載

動画が撮影できるムービー機能、複数の画像をつなぎ合わせるパノラマ機能、2倍または4倍に拡大して撮影できるデジタルズーム撮影機能を搭載。さらに、一度に複数画面を一覧するマルチ画面表示、ディテール確認のためのクローズアップ機能、撮影した画像を自動的に次々と表示するオートプレイ機能など、さまざまな表示機能を搭載しています。



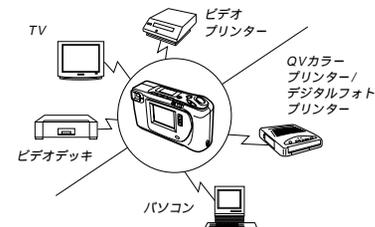
撮影した画像は撮ったその場で確認できる

高画質 TFT方式の液晶画面は、明るい所でも見やすい低反射方式のものを採用しています。



ビデオ出力/デジタル転送でパワーアップ

ビデオ出力機能を使えば、大画面テレビにつないでプレゼンテーションに活用することができます。また、撮影画像をパソコンにデジタルデータとして転送し保存、編集したり、逆にパソコン上の画像を本機に転送して持ち運びこともできます。



8

## 使用上のご注意

### データエラーのご注意

本製品は精密な電子部品で構成されており、以下のような取り扱いをしないと内部のデータが破壊される恐れがあります。

- 記録、通信中に電池をはずしたり、ACアダプターをはずしたとき
- 通信中のケーブルはずれ
- 消耗した電池を使用し続けたとき
- その他の異常操作

このような場合カメラの操作ができなくなり、次の表示がでてきましたら、画面内容に対応したご処置をお願いいたします。

"MEMORY ERROR"  
# 1、# 3 画面 → 画面に表示されるメッセージとその対処方法。(→65ページ)

"MEMORY ERROR"  
# 2、# 4 画面 → 最寄りのカシオテクノ・サービスステーションへご連絡ください。(→70ページ)

### 使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0 - 40 です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたる場所、湿気やホコリの多い場所。
  - 冷蔵庫装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所。
  - 日中の車内、振動の多い場所。

### 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋に入れて密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出してください。なお結露してしまった場合は、本機から電池を取り出して、電池ボックスを開けたまま数時間放置してください。

### 蛍光管について

- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったりチラつく場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーション(70ページ)までご連絡ください。有償にてお取り換えします。蛍光管の寿命は、一日2時間のご使用で約6年間です。
- 低温でのご使用の場合は、バックライトが点灯するまでに時間がかかったり、赤味を帯びることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。

9

### 液晶画面表示について

撮影時、液晶画面に表示される被写体の映像は、画角確認のための「簡易画像」です。  
撮影した内容は、選択した画質モードで記録されており、出力画素数は確保されています。  
\* メモリーには綺麗な画像で記録されます。

再生時、本機では【+】/【-】によるページめくりの速度を高速化し、操作性の向上を図りました。  
このためページ送り後、瞬時に表示される画像は、一旦「簡易画像」になります。  
記録されている本来の「精細画像」は、ファイルサイズにもよりますが、約5秒後に表示されます。  
また、オートプレイ機能でページめくりの間隔を5秒以内にすると、ファイルサイズにもよりますが、表示される画像は「簡易画像」になります。

10

## はじめに

ここでは、本機をお使いになる前の付属品の確認、各部の名称、電源について説明しています。

### 付属品の確認..... 12

ストラップの取り付けかた	12
ソフトケースの使いかた	12

### 各部の名称..... 13

後面部	13
前面部	13
底面部	13
端子カバーの開きかた	13

### 画面情報表示..... 15

撮影モード時	15
再生モード時	16

### 電源について..... 17

電池を入れるには	17
家庭用電源を使うには	19

11

## 付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていない場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。



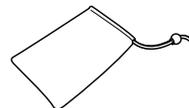
デジタルカメラ本体



アルカリ電池(単3x4)



ストラップ



ソフトケース



取扱説明書(保証書付き)  
アンケートカード

### ストラップの取り付けかた

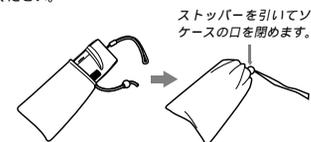
ストラップは、図のようにストラップ穴に通し、しっかりと引っ張り張ります。



**重要!** カメラ操作時は、落下を防止するため、必ずストラップに手を通した状態で使用してください。

### ソフトケースの使いかた

ご使用にならない時は、本機を付属のソフトケースに入れて保管してください。

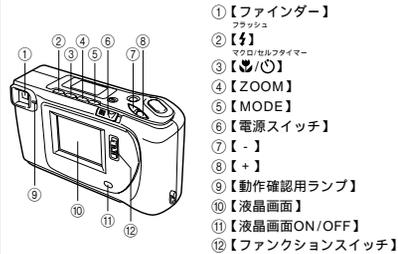


12

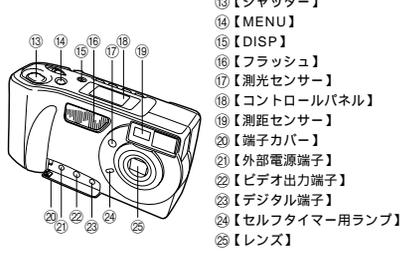
## 各部の名称

この取扱説明書中では、本機の各部の名称は以下の【 】内の呼びかたを使います。スイッチやボタンの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

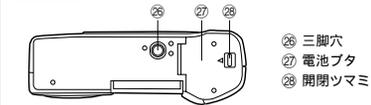
### 後面部



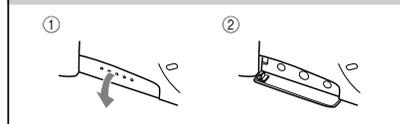
### 前面部



### 底面部

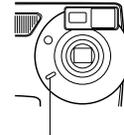


### 端子カバーの開きかた



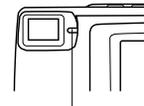
13

セルフタイマー用ランプと動作確認用ランプについて  
【セルフタイマー用ランプ】 .....セルフタイマー撮影を行なうときにランプが点滅します。



【セルフタイマー用ランプ】

【動作確認用ランプ】 .....撮影時は、点灯 / 点滅します。点灯 / 点滅する色によって右記の内容を表しています。



【動作確認用ランプ】

14

### 撮影時

発光色	点 灯	点 滅
緑色	ピント合わせ完了	起動中 / 記録中
オレンジ色	露出警告	フラッシュ充電中
赤色	ピント合わせ不可 / "MEMORY FULL" / フラッシュ充電不可	メモリーエラー

• 消灯は撮影可能を意味します。

### 再生時（ビデオコード接続時）

発光色	点 灯	点 滅
緑色	再生中	準備中
赤色	バッテリー警告	

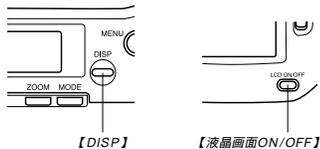
### 電池警告時

3秒間赤色点滅後 消灯

## 画面情報表示

【DISP】を押すと、画面にさまざまな情報を表示することができます。液晶画面を消している場合は、【液晶画面ON/OFF】を押して表示させてください。

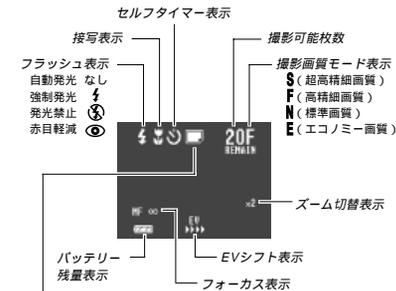
• 液晶画面に表示される範囲は、実際の画像よりもやや小さく表示されます。



### 撮影モード時

#### 液晶画面表示

撮影モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



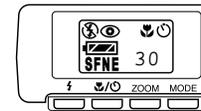
通常撮影	パノラマ撮影
ムービー撮影	タイトル撮影

15

### 画面情報表示

#### コントロールパネル表示

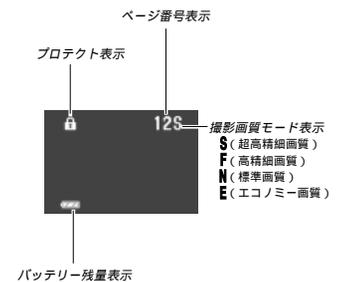
撮影時に以下の状態であることを表示します。液晶画面を消しているとき、撮影状態の確認用に使用できます。



🔍	接写表示	数字	撮影可能枚数
🕒	セルフタイマー表示	S	超高精細画質
⚡	強制発光	F	高精細画質
🚫	発光禁止	N	標準画質
👁	赤目軽減	E	エコノミー画質
🔋	バッテリー残量表示		

#### 再生モード時

再生モードで液晶画面に表示される項目について説明します。



16

## 電源について

本機は、乾電池（単3型アルカリ電池および、リチウム電池）、指定の充電電池または家庭用電源を利用できます。

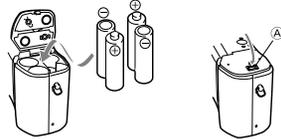
### 電池を入れるには

電池交換の際は、電源を切った状態で行ってください。

1. 本体底面の電池カバーの開閉ツマミを、矢印の方向にスライドさせ（①）、フタを開きます（②）。



2. 電池を図のようにセットした後、電池カバーを閉めます。



- 必ず単3型の指定電池をご使用ください。マンガン電池は使用できません。
- ツマミ部分が「バチン」というまでしっかりと押し下げてください。
- 電池カバーの先端（Aの部分）を押すと簡単に閉めることができます。

### 電池持続時間の目安

本機では乾電池（単3型アルカリ電池及びリチウム電池）、指定の充電電池が利用できます。以下の電池持続時間は、標準温度（25℃）で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
単3型アルカリ電池 LR6	約 120分	約 280枚撮影可能**
単3型リチウム電池 FR6	約 210分	約 780枚撮影可能**

アルカリ電池は松下電池工業（株）製、リチウム電池は富士写真フイルム（株）製の場合があります。電池持続時間はメーカーによって異なります。

#### 充電式電池のご利用について

本機では充電式の電池もご利用いただけますが、その際は必ず以下の製品をお使いください。他の充電式電池については動作保証いたしかねます。

東芝電池（株）製 単3型ニッケル水素（Ni-MH）蓄電池 TH-3A（1.2V 1300mAh）  
三洋電機（株）製 単3型ニッケルカドミウム（Ni-Cd）蓄電池 N-3US（1.2V 1000mAh）

**重要！** 電池は、必ず同じ製品を4本セットでご使用ください。違う種類の電池や、充電状態の異なる電池を組み合わせてご使用になると、電池寿命を短くしたりカメラの故障の原因となります。

使用電池	連続再生時	連続撮影時
ニッケル水素蓄電池 Ni-MH	約 110分	約 470枚撮影可能**
ニッケルカドミウム蓄電池 Ni-Cd	約 100分	約 420枚撮影可能**

17

## 電源について

### 参考

\*1 連続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源のON/OFFなどの条件により数値は異なります。各電池の特性の違いから電池残量表示の変化のスピードも各々で異なります。

#### 電池を長持ちさせるために

- 光学ファインダーから被写体を見て撮影するときは、【液晶ON/OFF】を押して液晶表示を消してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。
- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュ【F】を押して発光禁止「」に設定してご使用いただくと電池持続時間が長くなります。

### 電池使用時の注意事項

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電池の正（+）と負（-）の向きに注意して正しく入れてください。次のことは必ずお守りください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。
- 使えなくなった電池は漏液して故障の原因となりますので、すぐに取り出してください。

- 2 2週間以上使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池が消耗してくると熱を持ちますが故障ではありません。

18

### 電池残量 / 警告表示

本機の電池が消耗すると本機の画面左下のバッテリー残量表示が「」になります（画面情報表示時）。そのまま使用し続けると画面中央にバッテリー警告「」が表示され、自動的に電源が切れます。速やかに4本とも新しい電池と交換してください。

### オートパワーオフ機能

本機の電源を入れたままで、一切の操作を行わずに放置すると、節電のために自動的に電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、撮影モード時\*で約2分、再生モード時\*で約5分です。再び使用するときは、電源を入れ直してください。

\*【ファンクションスイッチ】を【REC】（撮影）の位置にセットした状態を「撮影モード」、【PLAY】（再生）の位置にセットした状態を「再生モード」と呼びます。

**重要！** 以下の状態では、オートパワーオフは動きませんので、ご注意ください。

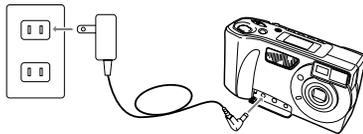
- ムービー再生中（34ページ）
- パノラマ再生中（35ページ）
- オートプレイ中（39ページ）
- 本機のデジタル端子を通して本機を外部のパソコンなどと接続しており、パソコンから本機を操作しているとき（60ページ）
- ACアダプターを接続しているとき（19ページ）

## 電源について

### 家庭用電源を使うには

家庭用電源から電源を取るには、別売品の専用ACアダプター（AD-C620）をご利用ください。

\* AD-C620は米国内などAC100～120Vの電源地域への旅行の際はそのままご使用になれます。



### ACアダプター使用時の注意事項

- 表示された電源電圧（AC100～120V）以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります（ACアダプターは別売本機専用をご使用ください）。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・故障・感電の原因となります。



- ACアダプターの電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷だらけ（芯線の露出・断線など）、販売店またはカシオテクニクス・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際には、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機に電池をセットした状態でACアダプターを使う場合でも、電源を入れたままACアダプターの抜き差しをすることはおやめください。電源を入れたままACアダプターの抜き差しを行なうと、製品保護のために本機の電源は一度切れますが、保護しきれずに故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、長時間ご使用になりますと若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。

19

20

## 操作のしかた

ここでは、本機の操作のしかたを詳しく説明します。撮影に際して調節のできる各項目、撮影した画像の見かたのさまざまなバリエーション、必要のない撮影内容の削除のしかたについて記載してあります。

撮影する .....	22
シャッターの押しかた	22
基本的な撮影	22
ファインダーを使用した撮影	24
フォーカスロック撮影	25
フラッシュ撮影	25
画質モードの切り替え	26
露出補正	27

その他の撮影方法 .....	28
ズーム撮影	28
マクロ撮影	28
ムービー撮影	29
パノラマ撮影	30
セルフタイマー撮影	31
マニュアル撮影	31

再生する .....	33
基本的な再生	33
ムービー再生機能	34
パノラマ再生機能	35
画像を拡大して表示する	36
1つの画面に複数画像を表示する	37
オートプレイ機能	39
スクリーンセーバー機能	41

撮影した画像を編集する ...	42
画像にフィルターをかける	42
画像にタイトルをつける	43
画像を並び替える	46
画像を回転する	47

メモリープロテクト機能について .....	48
1画像単位でメモリープロテクトをかける / 解除する	48
全ページにメモリープロテクトをかける / 解除する	49

画像を削除する .....	50
1画像ずつ削除する	50
すべての画像を一度に削除する	51

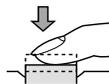
画質を変換する .....	53
---------------	----

## 撮影する

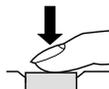
### シャッターの押しかた

本機は、オートフォーカス機能により自動的にピントを合わせることができます。ピントを合わせるときは、以下の方法で行なってください。

#### 1. 【シャッター】を軽く押しします(半押し)



#### 2. 【シャッター】を押しします(押し切る)



### 基本的な撮影

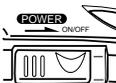
最も基本的な撮影のしかたです。以下の手順で操作してください。

#### 1. 【ファンクションスイッチ】を [REC] 撮影 の位置に合わせます。



\* [REC] は撮影するときの位置(撮影モード)、[PLAY] は撮影した内容を見るとききの位置(再生モード)です。

#### 2. 【電源スイッチ】を矢印の方向にスライドさせます。



• 【電源スイッチ】は、指を離すと元の位置に戻ります。

\* 電源を入れると、通常撮影モードになります。

\* 手順1と2は、どちらの操作を先に行なっても構いません。

\* 電源を切るには、【電源スイッチ】をもう一度スライドさせてください。

### 3. ファインダーを覗いて、撮影したい構図を決めてから、【シャッター】を半押しします。



- オートフォーカス機能により、自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、【動作確認用ランプ】が緑色に点灯します。
- 液晶画面で被写体を見るときは、【液晶画面ON / OFF】を押して、液晶画面を表示させてください。

\* レンズを指でふさがないようにご注意ください。

\* 接写撮影したい場合は28ページの「マクロ撮影」を参照してください。

### 重要! オートフォーカスの苦手な被写体

- 階調のない壁などコントラストが少ない被写体
- 強い逆光のもとにある被写体
- 光沢のある金属など明るく反射している被写体
- ブラインドなど、水平方向に繰り返すパターンのある被写体
- カメラからの距離が異なるいくつもの被写体があるとき
- 暗い場所にある被写体
- 4倍ズームで近距離撮影をするとき

上記のような被写体に対しては、ピントが合わず【動作確認用ランプ】が赤色に点灯することがあります。このような場合には、フォーカスをマニュアルに切り替えて撮影してください(31ページ)。

ピントが合わないときは、自動的に固定位置に焦点を合わせて撮影します。

明るい場所での撮影時 ..... 1.5m以上  
フラッシュを使用する撮影時 ..... 1 ~ 2m

#### 4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押し切りします。

- 画質によって保存できる枚数が異なります(26ページの「画質モードの切り替え」を参照してください)。
- \* 手ブレを起こさないために、【シャッター】は静かに押してください。
- \* ここで【ファンクションスイッチ】を [PLAY] 再生 に合わせると、今撮影した内容が確認できます。

## 撮影する

## 撮影する

### 撮影時の注意事項

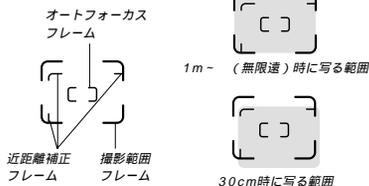
- 動作ランプが緑色点滅している間に、電池ケースのフタを開けることは、絶対におやめください。動作ランプが緑色点滅している間に誤って電池ケースのフタを開けてしまうと、今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されるおそれがあります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。

### フラッシュメモリーについて

本機は、撮影画像の記録用として「フラッシュメモリー」を内蔵しています。フラッシュメモリーは、電池の消耗などにより本機への電源の供給が途絶えた場合でも、記録した撮影画像のデータを保持することができます。電池消耗により本機の電源が入らなくなった場合でも、新しい電池を入れ直すか、別売品のACアダプターを接続して再度電源を入れることで、撮影した画像を再び見ることができます。

### ファインダーを使用した撮影

ファインダーを覗きながら撮影する場合は、以下の内容に注意しながら撮影してください。



撮影範囲フレームは1m - (無限遠) 時に写る範囲ですが、被写体までの距離が近づくにつれて撮影できる範囲が右下に移動します。30cmのときは近距離補正フレーム内が確実に撮影できる範囲となります。

ファインダーでの撮影は、30cm - (無限遠) の範囲で行なってください。オートフォーカスでの撮影の場合は、オートフォーカスフレーム内の被写体にピントが合います。30cmより近い範囲で撮影するときには【 $\heartsuit$  /  $\odot$ 】を押してマクロ撮影モードにするか、マニュアル撮影モードにしてから撮影してください。

\* マクロ撮影モードにすると、自動的に液晶画面が付きまします。

### フォーカスロック撮影

ファインダーを覗いて撮影するとき、撮影したい構図でオートフォーカスフレームに入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロック撮影を行います。

1. ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。



2. 【シャッター】を半押ししたまま、撮影する構図にレンズを移動させます。



3. 【シャッター】を押します。

### フラッシュ撮影

フラッシュを使った撮影ができます。自動発光すると、暗い場所で撮影するときに自動でフラッシュが発光します。

1. 【**4**】を押します。

- 【**4**】を押すごとに、自動発光 → 強制発光 **4** → 発光禁止 **4** → 赤目軽減 **4** の順番で撮影状態が切り替わります。
- \* フラッシュの充電中は液晶画面が消え【動作確認用ランプ】が点滅します。



画面表示	発光状態
表示なし	「自動発光」露出に合わせて自動的に発光します。
<b>4</b>	「強制発光」露出に関係なく強制的に発光します。
<b>4</b>	「発光禁止」露出に関係なく発光しません。
<b>4</b>	「赤目軽減」プリ発光してから再度発光します。(人物を撮るときに目が赤くなることを軽減します。)

- 重要!** フラッシュの発光部や測光センサー部分が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうと本来の効果が得られません。
- フラッシュによる撮影距離は約0.7m～約2mの範囲です。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
  - フラッシュの充電は、その時の使用条件（電池の種類、状態や温度等）により数秒～10秒程度かかります。
  - ムービー撮影モードになっているときは、フラッシュは発光しません。このとき「**4**」マークが点滅します。
  - 電池が弱ってくるでフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき「**4**」マークが赤く点滅し、フラッシュが正常に発光せず適度な露出が得られないことを示します。速やかに新しい電池と交換してください。
  - 被写体がカメラの方に視線を向けていない場合や被写体までの距離が遠い場合には、赤目軽減効果が現れにくい場合があります。
  - 赤目軽減モードでは、露出に合わせて自動的に発光するため暗い場所でのフラッシュ発光はしません。
  - 暗い場所ではフラッシュを使用してください。フラッシュをご使用にならない場合は、手ブレを防止するためにゆっくりとシャッターを切るようにし、三脚のご使用をおすすめします。

### 画質モードの切り替え

本機は、撮影する内容に応じて、画質の切り替えができます。画質モードの切り替えはマニュアル設定画面で変更します。詳しい操作方法は、31ページ「マニュアル撮影」を参照してください。

それぞれの撮影可能枚数は以下の通りです。

画質表示	撮影画質	標準枚数	ファイルサイズ	出力画素数
<b>S</b>	超高精細	16枚	約450KB/枚	1280×960
<b>F</b>	高精細	30枚	約225KB/枚	1280×960
<b>N</b>	標準	57枚	約113KB/枚	1280×960
<b>E</b>	エコミー	88枚	約64KB/枚	640×480

\* 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため記録枚数は変化します。

### 露出補正

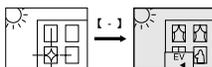
本機は、撮影時の明るさに応じて、シャッタースピードと絞りを自動的に変化させる「プログラムAE」を行っています。このプログラムAE機能とは別に、露出値（EV値）を一定範囲で手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影時などに利用すると、より良好な画像が得られます。

\* 【液晶画面ON/OFF】を押して、液晶画面を表示させてください。

1. 【+】または【-】を押すと露出補正（EVシフト）され、画面にバーグラフが表示されます。

【+】.....液晶画面が明るくなり、室内などの暗い所や逆光での撮影時に適します。

【-】.....液晶画面が暗くなり、晴天の屋外などでの撮影に適します。



\* 補正値の限界になるとバーグラフが赤の表示になります。

2. 適切な明るさになったら、【シャッター】を押してください。

- 参考**
- 電源を入れた時点では、露出補正値は0になっています。
  - 露出補正値は、【+】または【-】を押すごとに、0.5EV刻みで、-2EV～+2EVの範囲で変化させることができます。
  - 露出補正値は、【シャッター】を押すごとにリセットされて0に戻ります。【シャッター】を押さずにリセットしたい場合は、反対方向に露出補正し、バーグラフ表示を消します（パノラマ撮影時は、EVシフトは固定されます）。
  - EVシフトを設定すると、その時点でのシャッタースピードと絞りに固定されます。

**重要!** 露出補正値は、明るすぎたり暗すぎたりする環境では、-2EV～+2EVの範囲内でも変化できない場合があります。

### 自動絞り切り替え

本機の絞りは、撮影時の明るさに応じて自動的に切り替わります。

## その他の撮影方法

本機では、通常撮影以外にもいろいろな撮影方法があります。  
\*ズーム撮影、マクロ撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、マニュアル撮影する場合には、液晶画面をご利用ください。

### ズーム撮影

ズームは被写体を2倍または4倍に拡大して、エコミー画質「E」[VGAサイズ(640×480pixels)]で記録します。

ズーム撮影切替.....2倍/4倍  
撮影可能距離.....30cm～

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]撮影)の位置に合わせます。

2. 【ZOOM】を押すと、画面右下に倍率が表示されます。  
• さらに【ZOOM】を押すと倍率が変わります。



3. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。
4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。

### マクロ撮影

近くのもの撮影するときに、レンズの撮影距離を変更することができます。

\* マクロ撮影のときは、液晶画面に「**4**」マークが表示されます。

撮影可能距離.....10cm固定  
(オートフォーカス機能は働きません。)

撮影可能距離はレンズ前面のプロテクターから被写体までの距離です。

**重要!** マクロ撮影中は、【ファインダー】を使わずに液晶画面を見ながら撮影してください。

1. 【ファンクションスイッチ】を[REC]撮影)の位置に合わせます。

2. 【**4**】を何回か押し「マクロ撮影」マーク(**4**)を表示させます。

- 【**4**】を押すごとに、セルフタイマー撮影 → マクロ撮影 → マクロ撮影+セルフタイマー撮影 → 標準撮影の順番で撮影状態が切り替わります。



3. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を押します。

### ムービー撮影

約3.2 / 4.8 / 6.4秒の動画を撮影することができます。  
撮影時間の切り替えはマニュアル設定画面で変更します。詳しい操作方法は、31ページ「マニュアル撮影」を参照してください。

1. 【ファンクションスイッチ】を[ REC ]撮影)の位置に合わせます。
  2. 【MODE】を何回か押して「ムービー撮影」マーク(  )を表示させます。
- 
3. 撮影する被写体にフレームを合わせ【シャッター】を半押しします。

4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。

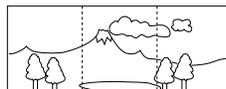


0.1秒間隔で3.2/4.8/6.4コマの画像を撮影します。

- 重要!** ムービー撮影中はフラッシュの発光はしません。
- ムービー撮影モードでは、ムービー撮影時間が3.2 / 4.8 / 6.4秒のときそれぞれ2 / 3 / 4枚のエコノミー画質「E」[VGAサイズ(640 x 480 pixels)]の画像として記録されます。
  - パソコンに転送し、再び本機に画像を戻した場合は、ムービー再生することができません。
  - ムービー撮影は、デジタルズームの2倍 / 4倍でしか撮影できません。
  - ムービー撮影時のオートフォーカスは最初に撮影した距離で固定されます。被写体の撮影距離が変わるムービー撮影を行なう場合は、被写体から2m以上離れて撮影すると適正なフォーカスで撮影できます。

### パノラマ撮影

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作ることができます。



1. 【ファンクションスイッチ】を[ REC ]撮影)の位置に合わせます。
2. 【MODE】を何回か押して「パノラマ撮影」マーク(  )を表示させます。



3. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。
4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。

5. 前回撮影した画像が残像になって画面左端に表示されず。
  - 2枚目以降は、前回の残像と今回のフレームが重なるように合わせて撮影してください。
  - \* 最大9枚までを1グループとして撮影し、パノラマ再生することができます。途中で撮影を終了したい場合は、【MENU】を押します。
  - \* パノラマ撮影は、10枚目以降も可能です。パソコンのソフトで10枚以上合成する場合に利用できます。

**参考** パノラマ撮影時の絞りとホワイトバランスは、1枚目を撮影したときの状態でロックされて2枚目以降の撮影をします。

**重要!** パソコンに転送し、再び本機に画像を戻した場合は、パノラマ再生することができません。

### セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使うと、【シャッター】を押してから10秒後に撮影することができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を[ REC ]撮影)の位置に合わせます。
2. 【】を何回か押して「セルフタイマー撮影」マーク(  )を表示させます。



- 【】/【】を押すごとに、セルフタイマー撮影 → マクロ撮影 → マクロ撮影 + セルフタイマー撮影 → 標準撮影の順番で撮影状態が切り替わります。

3. 撮影する被写体にフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。
4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。

\* 【セルフタイマー用ランプ】が点滅してカウントを知らせます。また、カウントダウンが始まると、液晶表示が自動的に消えます(撮影が終了すると表示がつかえます。)

### マニュアル撮影

ホワイトバランス、ピント合わせ(フォーカス)などをマニュアル設定することができます。

好みや撮影状況によって設定を変更してください。

**QUALITY** ..... 画質の精度が「超高精細画質・S」」「高精細画質(画質モード)」「F」」「標準画質・N」」「エコノミー画質「E」」から選べます。

「超高精細画質・S」」を使用すると、画質はよくなりますが、撮影可能枚数は最少となります(26ページ)。

**WB** ..... オート / WB1 / WB2 / WB3の切り替えができます。(ホワイトバランス) ホワイトバランスとは、被写体を自然の色合いで撮影できるように白色系の部分を基準に調整することをいいます。

- WB1**  ..... 電灯下で赤みがあるときに設定
- WB2**  ..... 蛍光灯下で青みがあるときに設定
- WB3**  ..... 屋外での撮影時に設定

**FOCUS** ..... オート / マニュアルの切り替えができます。(フォーカス)

**PICTURE** ..... オート / ソフト / ハードの切り替えができます。(画像補正モード) 人物を撮影したときの輪郭などが変わります。

- SOFT** ..... 画像がやわらかく撮影されます。
- HARD** ..... 画像がくっきり撮影されます。

**MOVIE TIME** ..... 3.2 / 4.8 / 6.4秒の切り替えができます。(ムービー連写の撮影時間) ムービー連写の撮影時間を変更すると、29ページの「ムービー撮影」をするときの撮影時間が変わります。

1. 【ファンクションスイッチ】を[ REC ]撮影)の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】で設定を変更する項目を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】で変更内容を選び【シャッター】を押します。

- 他の項目の変更をする場合は、【MENU】を押して手順3-4の操作を繰り返します。

\* 電源をOFFにしないがぎり、設定内容は変わりません。

5. フォーカス(FOCUS)を「MF(マニュアル)」に設定した場合は、被写体距離を確認して、その距離に合うフォーカスを【+】または【-】で選択します。

6. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。

\* 普通の撮影状態に戻すときは、もう一度「マニュアル設定」に入り、ホワイトバランス(WB)、フォーカス(FOCUS)および輪郭補正モード(PICTURE)の各モードを「AUTO/AF」にします。  
\* 電源をOFFにすると、ホワイトバランス(WB)とフォーカス(FOCUS)は「AUTO/AF」になります。  
ただし、輪郭補正モード(PICTURE)は、「マニュアル設定」でモードを変更する必要があります。

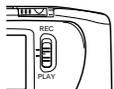
## 再生する

ここでは、撮影した内容のいろいろな見かたを説明します。

### 基本的な再生

本機は液晶画面を備えているので、記録されている内容を本機だけで確認することができます。記録されている内容は、メモ帳のページをめくる要領で、順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】再生の位置に合わせます。



\* 【PLAY】は撮影した内容を見るとき位置(再生モード)、【REC】は撮影するとき位置(撮影モード)です。

2. 【+】または【-】を押します。

- 【+】を押すと後ろの画像が表示され、【-】を押すと前の画像が表示されます。
- 【+】または【-】を押し続けると画像が早く送られます。



- 参考**
- 撮影を行なった直後に【ファンクションスイッチ】を【PLAY】(再生)の位置にした場合は、今撮影した内容が表示されます。
  - ムービー撮影/パノラマ撮影した画像が表示されているときに【シャッター】を押すと、ムービー画像選択画面/パノラマ画像選択画面が表示されて、ムービー再生/パノラマ再生をすることができます。
  - 初めに表示される画像は、簡易画像のため粗い表示になっていますが、数秒後に精細な画像として表示されます。

33

## 再生する

### ムービー再生機能

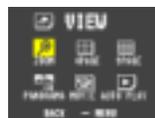
ムービーモードで撮影した画像を再生することができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】(再生)の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って“MOVIE”を選び【シャッター】を押します。

5. 【+】または【-】を使ってムービー撮影した画像を表示させます。



6. 【シャッター】を押すとムービー再生を始めます。

- ムービー再生中に【+】または【-】を押すと再生方向を切り替えることができます。
- ムービー再生中に【MENU】を押すと「コマ送り」「コマ戻し」「表示切替」ができます。

\* 「表示切替」は、【DISP】を押すごとに、1/4画面→全画面表示の順で切り替わります。

7. ムービー再生を終了するには、【シャッター】を押します。

\* ムービー画像を削除した場合は、残りのムービー画像で再生しします。

- 参考**
- ムービー再生中はオートパワーオフ機能が働きません。
  - 通常再生時、ムービー撮影した画像が表示されているときに【シャッター】を押すと、ムービー画像選択画面が表示されて、ムービー再生をすることができます。

34

## 再生する

### パノラマ再生機能

パノラマモードで撮影した画像を再生することができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】再生の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って“PANORAMA”を選び【シャッター】を押します。

5. 【+】または【-】を使ってパノラマ撮影した画像を表示させます。



6. 【シャッター】を押すとパノラマ再生を始めます。

- パノラマ再生中に【シャッター】を押すと、一時停止します。
- パノラマ再生中に【シャッター】を押して、【+】または【-】を押すとコマ送り、コマ戻しができます。



7. パノラマ再生を終了するには、【MENU】を押します。

- 参考**
- パノラマ再生中はオートパワーオフ機能が働きません。
  - 通常再生時、パノラマ撮影した画像が表示されているときに【シャッター】を押すと、パノラマ画像選択画面が表示されて、パノラマ再生をすることができます。
  - パノラマ再生/一時停止中に【DISP】を押すと、横画面→全画面の順に表示が切り替わります。

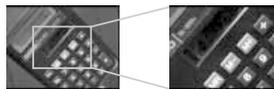
35

## 再生する

### 画像を拡大して表示する

撮影した画像を、部分的に2倍に拡大して表示させることができます。1画面表示の状態から、以下の操作を行なってください。

**重要** ムービー撮影/パノラマ撮影した画像に対しては実行できません。



1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】(再生)の位置に合わせます。

2. 【+】または【-】を使って拡大表示したい画像を表示させます。

3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って“ZOOM”を選び【シャッター】を押します。

- 画面の中央部が2倍に拡大されて表示されます。

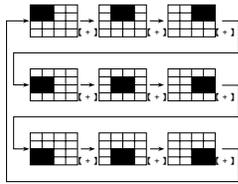
6. 【+】または【-】を押します。

- 押すごとに、拡大範囲が次ページの図のように移動します。

7. 拡大表示を終了するには、【+】/【-】/【DISP】以外のボタンを押します。

36

## 拡大範囲の移動のしかた



•【-】を押した場合は、この逆の動きになります。

**参考** 画面情報の表示中（15ページ）に拡大表示を行なうと、現在画面上のどの位置が拡大されているかを画面右上端に「」で表示します（これを「範囲表示」といいます）。拡大表示中でも、【DISP】を押すことで、範囲表示の表示 / 非表示を切り替えることができます。

## 1つの画面に複数画像を表示する

撮影した内容を、4枚または9枚同時に一覧表示させることができます。大画面テレビに表示してカタログ的に楽しんだり、プレゼンテーションなどで威力を発揮します。



1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



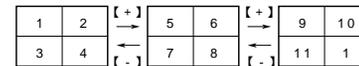
4. 【+】または【-】を使って“4PAGE”または“9PAGE”を選び【シャッター】を押します。

\* 最初に表示していた画面を先頭として4画面、9画面がそれぞれ表示されます。

\* ムービー撮影 / パノラマ撮影した画像は、すべてのページが表示されます。

\* ムービー撮影した画像は、16分割の画像で表示されます。

5. 【+】または【-】を押すごとに別の画像を表示できます。



6. 複数画面表示を終了するには、【+】/【-】/【DISP】以外のボタンを押します。

**参考** 複数画面表示中の画面の明るさは、最も明るい画面に合わせられます。

## 1画像を選んで表示する

複数画面表示を使うと、すばやく目当ての画面を探して1画面表示させることもできます。

1. 複数画面表示に切り替えます。



2. 【DISP】を押します。

- 左上の画像のページ番号が表示されます。

3. 【+】または【-】を使ってページ番号表示を目当ての画像に移動させ【シャッター】を押します。

- 目当ての画像が1画面表示されます。



## オートプレイ機能

撮影した内容を、自動的に次々とページめくりしていく機能です。ページめくりの間かくを設定することもできます。



**重要!** オートプレイ中は、本機のオートパワーオフ機能（本機の操作を行なわないと、一定時間後に自動的に電源が切れる機能、18ページを参照）が働きます。このため、電池で本機を使用しているときにオートプレイをしたらそのまま忘れて放置してしまうと、確実に電池が消耗します。オートプレイで撮影した内容を見た後は、必ずオートプレイを終了して、電源を切るようにしてください。

## オートプレイを開始する

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】（再生）の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って“VIEW”を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って“AUTO PLAY”を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って表示サイズを選び【シャッター】を押します。

- 指定したサイズでオートプレイが始まります。

6. オートプレイを終了するには【シャッター】を押します。

\* このとき、【MENU】以外のどのボタンを押しても、オートプレイを終了することができます。

\* 画面の移動中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

## オートプレイの設定

ページめくりの間かく（1～30秒）の設定を行なうことができます。

1. 「オートプレイを開始する（39ページ参照）」の手順に従って、まずオートプレイを開始します。

2. 【MENU】を押します。

- 画面の静止中に押してください。



3. 【+】または【-】を使ってページめくりの間かくを選び【シャッター】を押します。

\* ページめくりの間かくは、1秒から30秒までの間で1秒間かくで指定できます。

\* 指定したページめくりの間かくでオートプレイを開始します。

## スクリーンセーバー機能

本機を操作しないで5分間放置しておく、自動的にページめくり(オートブレイ機能)を開始する機能です。液晶画面や、テレビ、モニターなどの焼き付け防止に役立ちます。

**重要!** 撮影モード時は、機能しません。

- ACアダプターを使用していないと、機能しません。
- 表示されている内容はメモリープロテクト(48ページ)されている画像だけです。
- メモリープロテクトされた画像がないときや"NO IMAGE"状態では実行できません。

1. 別売品の専用ACアダプター(AD-C620)を接続します。
2. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY(再生)】の位置に合わせます。
3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って"SET UP"を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って"SCREEN SAVER"を選び【シャッター】を押します。
6. 【+】または【-】を使って"ON"を選び【シャッター】を押します。
  - スクリーンセーバーの機能になります。
  - スクリーンセーバーの機能を解除する場合は"OFF"を選びます。

7. 5分間無操作状態が続くと、スクリーンセーバーを開始します。ページめくりの間隔はオートブレイと同じです。
8. スクリーンセーバーを終了するには【シャッター】を押します。
  - \* このとき、【MENU】以外のどのボタンを押してもスクリーンセーバーを終了することができます。
  - \* 画面の移動中はボタン操作が効かなくなります。画面の静止中にボタンを押してください。なかなか停止しない場合は、しばらくボタンを押し続けてください。

41

## 撮影した画像を編集する

撮影した画像を本機の編集機能を使用している内容に変更することができます。

## 画像にフィルターをかける

撮影した画像を、白黒やセピア色に変更することができます。

- 重要!** 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。
- フィルターをかけようとしている画像の画質モードに、メモリーの空き容量がない場合。
  - 表示している画像がムービー撮影/パノラマ撮影した画像の場合。
  - "MEMORY FULL"が表示されている場合。
- 回転させた画像に対してフィルターをかけると、回転処理が解除されます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY(再生)】の位置に合わせます。
2. 【+】または【-】を使ってフィルターをかける画像を表示させます。

3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って"EFFECT"を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って"FILTER"を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【-】を使ってフィルターの種類を選び【シャッター】を押します。
  - \* 【+】または【-】を押すごとに5種類のフィルター効果が切り替わります。
  - \* フィルター効果のかかった画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。
  - \* 画像の構図や色の種類によりフィルター効果にかかる時間は異なります。

42

## 撮影した画像を編集する

## 画像にタイトルをつける

本機でタイトルを撮影後、画像にタイトルを合成することができます。タイトルに使う文字を紙などに書いておいてください。



## タイトルを撮影する

- 重要!** タイトルを撮影する場合には、液晶画面をご利用ください。
- タイトルを撮影すると、前回撮影したタイトルは消去されます。
  - タイトル撮影では、ズーム撮影ができません。

1. 【ファンクションスイッチ】を【REC(撮影)】の位置に合わせます。
2. 【MODE】を何回か押して「タイトル撮影」マーク(📄)を表示させます。



3. 撮影するタイトルにフレームを合わせて【シャッター】を半押しします。
  - タイトルを撮影するときは線の内側に合わせます。
  - \* 【+】または【-】で露出を補正することができます(27ページの「露出補正」を参照してください)。

4. ピントが合っていることを確認して【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】で明るさを調整(±30段階まで)してから【シャッター】を押します。

\* 調整した明るさでタイトルが保存されます。

43

## 撮影した画像を編集する

## タイトルを画像に合成する

- 重要!** 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。
- タイトル合成しようとしている画像の画質モードに、メモリーの空き容量がない場合。
  - 表示している画像がムービー撮影/パノラマ撮影した画像の場合。
  - "MEMORY FULL"が表示されている場合。
- 回転させた画像に対してタイトルをつけると、回転処理が解除されます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY(再生)】の位置に合わせます。
2. 【+】または【-】を使ってタイトルを合成する画像を表示させます。
3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って"EFFECT"を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って"TITLE"を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【-】を使ってタイトルの色を選び【シャッター】を押します。
  - \* 【+】を押すごとに、タイトルの色が20種類【-】は逆切り替わります。



44

7. 【+】または【-】を使ってタイトルのプレートを選び【シャッター】を押します。

\*【+】を押すごとに、プレートの形が8種類【-】は逆切り替わります。

\*「プレートなし」を選択したときは手順9に進みます。



8. 【+】または【-】を使ってプレートの色を選び【シャッター】を押します。

\*【+】を押すごとに、プレートの色が12種類【-】は逆切り替わります。



9. 【+】または【-】を使ってタイトルの位置を選び【シャッター】を押します。

\*【+】を押すごとに、タイトルの位置が5段階【-】は逆移動します。

\*タイトルが合成された画像は、元の画像の次ページに新しく保存され、それ以降のページ番号は繰り下がります。

### 画像を並び替える

撮影した画像の順番を並び替えることができます。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY (再生)】の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「TOOL」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「MOVE」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って移動する画像を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【-】を使って移動する場所の画像を選び【シャッター】を押します。

- 選択した画像の前に移動して、ページ番号が変更されます。

### 画像を回転する

撮影した画像を90°ずつ回転させることができます。

**重要!** 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。  
- 表示している画像がムービー撮影/パノラマ撮影した画像の場合。



1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】の位置に合わせます。
2. 【+】または【-】を使って回転させる画像を表示させます。
3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「TOOL」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って「ROTATE」を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【-】を使って回転する角度を選び【シャッター】を押します。
- 指定した角度で画像が回転されます。



**重要!** 回転した画像は、表示する際に回転処理を行っていないだけです。画像データとしては、元のデータのままで、パソコンなどに取り込んだ場合や、QVプリンターで出力した場合は回転されていない状態で出力されます。

## メモリープロテクト機能について

必要な画像を誤って削除してしまわないために、本機には「メモリープロテクト」(削除防止)機能が付いています。メモリープロテクトのかけ方には、「1画像ごと」「全画像まとめて」の2つの方法があります。

### 1画像単位でメモリープロテクトをかける/解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY (再生)】の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「TOOL」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「PROTECT」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って「PAGE」を選び【シャッター】を押します。



6. 【+】または【-】を使ってメモリープロテクトをかけたリ解除する画像を表示させます。

7. 【シャッター】を押して、メモリープロテクトをかけたリ解除します。

\*メモリープロテクトがかかると、指定した画像の左側に鍵マークが表示されます。

8. このまま続けてメモリープロテクトを行いたい場合は、手順6～手順7を繰り返してください。

\*設定画面から抜ける場合は、【MENU】を押すが、1分間何も操作しないと元の画面に戻ります。

全ページにメモリープロテクトをかける / 解除する

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY】の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「TOOL」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「PROTECT」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って「ALL」を選び【シャッター】を押します。

6. 【+】または【-】を使って「ALL」(プロテクト設定時)または「CANCEL」(プロテクト解除時)を選び【シャッター】を押します。

\* メモリープロテクトをかけてから、「画面情報表示」にすると、すべての画像の左上に鍵マーク が表示されます。

\* メモリープロテクトを解除してから「画面情報表示」にすると、すべての画像の左上の鍵マーク が消えます。

画像を削除する

**重要!**一度削除してしまった撮影内容は、二度と元に戻すことはできません。削除の操作を行なう際は、本当に不要な画像かどうかをよく確かめてから行なってください。特に、全画像削除の操作では、撮影した全ての内容を一度に削除してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

• 以下の状態ではアイコンが青色になり、実行できません。

- すべての画像がメモリープロテクトされているとき。

\* メモリープロテクトのかかった画像は削除できません。48ページを参照してメモリープロテクトの解除を行ってから操作をしてください。

1画像ずつ削除する

画像を1画像ずつ確認しながら削除する方法です。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY (再生)】の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「DELETE」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「PAGE」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って削除したい画像を表示させます。

6. 現在表示されている画面が間違いなく削除したい画像であることを確認してください。

\* もし、削除せずに元の画面に戻るには、【+】/【-】/【シャッター】以外のボタンを押します。

7. 削除するには、【シャッター】を押します。

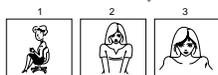
• ムービー撮影した画像は、ページ単位で削除されます。

\* 画面に表示されていた画像が削除され、続けて次の画像が削除できる状態になります。

8. このまま続けて画像削除を行ないたい場合は、手順5～手順7を繰り返してください。

\* 削除の操作を終了したい場合は、【+】/【-】/【シャッター】以外のボタンを押します。

**参考** 1画像削除を行なうごとに、ページの空きができないように自動的に「ページ詰め」が行なわれます。



すべての画像を一度に削除する

画像のすべてを一度に削除する方法です。この方法で削除を行なっても、メモリープロテクト(48ページ)をかいた画像だけは削除されません。

1. 【ファンクションスイッチ】を【PLAY (再生)】の位置に合わせます。

2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「DELETE」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「ALL」を選び【シャッター】を押します。



**重要!** 次の操作を行なうと、画像のすべてが削除されます。すべて削除してよいかどうか確認がお済みでない場合は、ここで「EXIT」を選んで一度元の画面に戻り、再度撮影内容をご確認の上、はじめから操作を行なうことをお勧めします。

5. 【+】または【-】を使って「ALL」を選び【シャッター】を押します。

\* すべての画像が削除され、画面に「NO IMAGE」と表示されます。

\* 削除機能中は、メモリープロテクトされている画像は表示されません。

\* メモリープロテクトをかけていない画像がある場合は、メモリープロテクトをかけてある最初の画像が表示されます。

## 画質を変換する

超高精細画質で撮影した画像は、高精細画質に、高精細画質の画像は標準画質に、標準画質の画像はエコノミー画質の画像に変換することができます。

\* 変換後、元の画像は削除されます。

**重要!** • 以下の状態ではアイコンが青色になり、選択できません。

- 表示している画像がムービー撮影/パノラマ撮影した画像の場合。
  - 表示している画像の画質モードが「E」（エコノミー画質）のとき。
  - 表示している画像にメモリープロテクトがかかっているとき。
- 回転させた画像に対して画質変換を行なうと、回転処理が解除されます。

1. 【ファンクションスイッチ】を[PLAY]（再生）の位置に合わせます。
2. 【+】または【-】を使って画質変換したい画像を表示させます。
3. 【MENU】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「TOOL」を選び【シャッター】を押します。



5. 【+】または【-】を使って「CONVERT」を選び【シャッター】を押します。



6. 【シャッター】を押します。

\* 画質の変換を開始します。

7. このまま続けて画質変換を行ないたい場合は、手順6を繰り返してください。

\* 画質変換の操作を終了したい場合は、【MENU】を押します。

53

## さまざまな機器との接続

ここでは、本機とさまざまな外部機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）を接続して使うときの接続のしかた、および使いかたについて説明します。また、接続に際しての注意点なども、あわせて説明します。

接続に使う端子について ..... 56

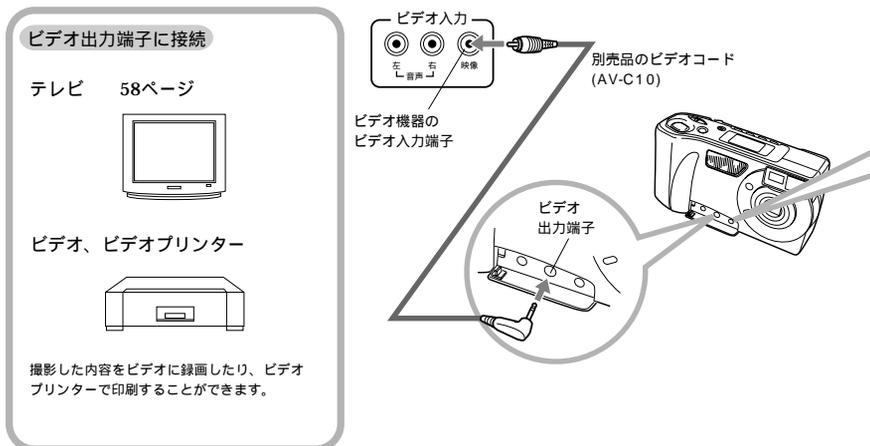
接続のしかたと操作 ..... 58

テレビとの接続	58
QVカラープリンターとの接続	59
パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続	60

55

## 接続に使う端子について

本機は、接続用の端子として「ビデオ出力端子」と「デジタル端子」の2つを備えており、テレビやビデオ、パソコンなどさまざまな機器と接続して使うことができます。



56



専用の接続コード  
専用の接続コード、および接続用の端子や端子の形状は、接続する相手により異なります。

**重要!** 接続は、本機と外部機器の電源を切った状態で行ってください。

- 接続する外部機器側の取扱説明書を参照してください。
- テレビやパソコンのCRTに同一画像を表示して長時間放置しておきますと、残像現象（画ヤケ）をおこす場合がありますので、同一画像のまま長時間放置することはおやめください。
- 本機で、カメラのカメラ通信機能はサポートされておりません。

### デジタル端子に接続

パソコン  
60ページ



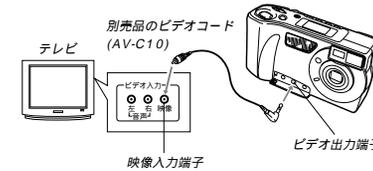
QVカラープリンター  
59ページ



## 接続のしかたと操作

### テレビとの接続

本機で撮影した内容を、テレビ画面に映して見ることが出来ます。テレビ画面に映すには、別売品の専用ビデオコード（AV-C10）を使って本機とテレビを接続します。



1. 別売品の専用ビデオコード(AV-C10)を使って、本機とテレビを接続します。
2. 接続したら、テレビ側のチャンネルを「ビデオ入力」にセットします。
3. 接続後の操作手順は、「33ページ「基本的な再生」と同じです。

**重要!** 本機とテレビを接続するには、テレビ側が上記のイラストのような「映像入力端子」を備えている必要があります。  
• 電池残量表示（17ページ）などの表示は、そのままテレビ画面に表示されますのでご注意ください。

### ビデオ出力の方式を変更する場合

本機は、ビデオ出力の方式に合わせて、設定を変更することができます。

ビデオ出力の方式には、以下の2種類があります。

NTSC：日本やアメリカなどで使用している方式です。  
PAL：ヨーロッパなどで使用している方式です。

1. 【ファンクションスイッチ】を「PLAY」再生の位置に合わせます。
2. 【MENU】を押します。



3. 【+】または【-】を使って「SETUP」を選び【シャッター】を押します。



4. 【+】または【-】を使って「VIDEO OUT」を選び【シャッター】を押します。

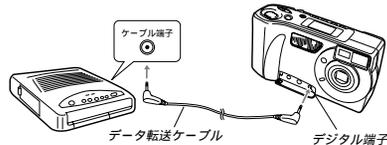


5. 【+】または【-】を使ってビデオ出力の方式を選び【シャッター】を押します。

### QVカラープリンターとの接続

QVカラープリンターと接続して、撮影内容をプリントすることができます。

接続できる機種：DP-300 / DP-8000 / DP-8800SX



1. QVカラープリンターに付属の通信ケーブルを使って本機とQVカラープリンターを接続します。
2. 接続したら、【ファンクションスイッチ】を「PLAY」再生の位置に合わせて電源を入れます。
  - QVカラープリンターでプリントする操作については、QVカラープリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

**重要!** QVカラープリンターと接続したときは、ムービー撮影した画像は16分割表示になります。また、パノラマ撮影した画像は1枚ずつの画像のままで、合成された画像としてプリントできません。

### パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続

本機の撮影内容を、最も劣化の少ないデジタルデータの状態ではパソコンに転送するための専用パソコンリンクケーブルおよび、パソコンリンクソフトが用意されています。専用パソコンリンクケーブルとパソコンリンクソフトを使うと、本機の撮影内容をパソコンにデータ送信したり、逆にパソコンの画像データを本機に取り込んだりすることができます。

パソコンの機種に応じた接続のしかた、本機の操作とパソコン上のソフトの使いかたについては、パソコンリンクソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

#### 使用できるケーブル

NEC PC-9801/9821シリーズ用：QC-1N  
IBM PC/AT互換機/PC98-NXシリーズ用：QC-1D  
Macintosh用：QC-2MまたはQC-3M

NEC PC-9801/9821シリーズの一部には、D-sub 25ピン端子の他にD-sub 9ピン端子も備えているものがあります。これらの機種で他の機器を併用する場合は、接続のしかたに合わせてQC-1NかQC-1Dのどちらかを選択してください。

MacintoshのうちPower MacまたはPower BookのG3シリーズ、およびPower Book 2400/3400シリーズではQC-2Mをご使用になれません。必ずQC-3Mをご使用ください。

なお、iMacにはシリアル端子が無いためどちらもご使用になれません。

#### 使用できるソフト

Windows版：LS-10W  
Macintosh版：LS-11M

- Windows版、LK-1 / LK-10NC / LK-10DV / LS-1W / LS-7Wおよび、Macintosh版、LK-2 / LK-2A / LS-2M / LS-8Mの接続キット中のパソコンリンクソフトでは動作保証してありませんのでご使用にならないでください。
- カシオのパソコンリンクソフトの動作環境については、各々のパッケージ、または取扱説明書を参照してください。

## ご参考、および保証等について

本機の操作中に不都合があった場合は、本章の「故障とお思になる前に」をご参照ください。製品の仕様や別売品についても、こちらに記載してあります。また、保証とアフターサービスについて、カシオのサービスステーション一覧が巻末に付記されています。

故障とお思になる前に ..... 62  
画面に表示されるメッセージ ..... 65

主な仕様 / 別売品 ..... 66  
主な仕様 ..... 66  
別売品 ..... 67

保証とアフターサービスについて ..... 68

保証規定 ..... 69

サービスステーション / 相談窓口一覧 ..... 70  
カシオテクノ・サービスステーション ..... 70  
カシオお客様相談窓口 ..... 70

## 故障とお思になる前に

現象	考えられる原因	対処	
電源について	電源が入らない	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。 3) 本機専用以外のACアダプターを使用している。	1) 電池を正しい向きに入れる(→17ページ)。 2) 新しい電池4本と交換する(→17ページ)。 3) 本機専用のACアダプター(AD-C620)を使用する。
	電源が勝手に切れた	1) オートパワーオフが働いた(→18ページ)。 2) 電池消耗している。	1) 再度電源を入れ直す。 2) 新しい電池4本と交換する(→17ページ)。
撮影について	画面中央部に  というマークが出た	電池が切れる寸前である。	新しい電池4本と交換する(→17ページ)。
	【シャッター】を押しても撮影できない	1) 【ファンクションスイッチ】が【PLAY】再生)の位置になっている。 2) フラッシュ充電中である。 3) * MEMORY FULL と表示されている。 4) * REMAINING と表示されている。	1) 【REC】(撮影)の位置に合わせる。 2) フラッシュの充電が終わるのを待つ。 3) いらぬ画像を削除する。 4) 画質モードを切り替える(→26ページ)。 または、いらぬ画像を削除する。
	オートフォーカスなのにピントが合わない	1) 【レンズ】または【測距センサー】が汚れている。 2) 被写体がオートフォーカスマークの中央にない。 3) ピントの合いにくい被写体である。	1) 【レンズ】と【測距センサー】をきれいにする。 2) 被写体を中央に合わせる。 3) 「マニュアル撮影」(→31ページ)を参照して撮影方法を変える。
	撮影した画像の被写体がボケている	フォーカスが合っていない。	ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
	セルフタイマー撮影の途中で電源が切れた	電池が消耗している。	新しい電池4本と交換する(→17ページ)。

### 故障とお思になる前に

現象	考えられる原因	対処
液晶画面に表示される画像のピントがあまい	1) マニュアル撮影モードでフォーカスがずれている。 2) マクロ撮影モードになっている。 3) 標準撮影モードになっている。	1) フォーカスを合わせる(→31ページ)。 2) 風景や人物を撮影する場合は、標準撮影モードにする。 3) 被写体撮影する場合は、マクロ撮影モード  にする。
室内での撮影時に、画面の色や明るさが変化する	室内照明が蛍光灯である。	白熱電球など蛍光灯以外の照明を使う(→24ページ)。
ムービー撮影できない	1) 撮影モードがムービー撮影になっていない。 2) 撮影できる枚数が足りない。	1) 【MODE】を押して、ムービー撮影モードにする。 2) いらぬ画像を削除して、残り枚数を超高精細 * S で2枚以上にする。
撮影した画像の一部がかけている	ファインダーから覗いたときに画像の中央を正しくとらえなかった。	次のような場合、撮影された範囲がファインダーを見たときと少し異なることがあります。 • 近距離撮影した場合、微妙なフレーミングを要求する場合は、液晶画面を見ながら撮影してください。 • ファインダーの光軸に対し斜めに覗いた場合、斜めに覗かないよう、カメラの向きにご注意ください。
再生した画像の色が、撮影時に画面で見た色と違う	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
マルチ画面表示で【+】/【-】が働かない	画面が停止した状態でないこと、【+】/【-】は働きます。	画面の停止中に【+】/【-】を押してください。

### 故障とお思になる前に

現象	考えられる原因	対処	
再生について	テレビに付属してもテレビの画面に本機の液晶画面の表示内容が出ない	1) 本機とテレビを正しく接続していない。 2) テレビ側の設定が合っていない。 3) ビデオ出力の方式が違う。	1) 専用ビデオコードを使って、正しく接続する(→58ページ)。 2) テレビ側の設定を合わせる。テレビに付属の取扱説明書をご参照ください。 3) ビデオ出力の方式を変更する(→58ページ)。
	* DELETE を指定しても削除指定画面に移動できない	記録されているすべてのページにメモリープロテクトがかかっている。	削除したいページのメモリープロテクトを解除する(→48ページ)。
	メニュー内のアイコンが青色になって選択できない	1) 再生画像に対して機能しないアイコンが青色になって選択できない。 2) 画像が1枚も入っていない。	1) 表示している画像ではその機能を使うことができません(→42 / 44 / 47 / 50 / 53ページ)。 2) 撮影してからお使ください。
その他	すべてのボタン、スイッチがきかない	他の周辺機器と接続中に、静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池を取り出し、ACアダプターのプラグを本機から抜き、入れ直してから、再度操作してみてください。
	勝手にページ送りがはじまった	スクリーンセーバー機能が【ON】になっている。	スクリーンセーバー機能を【OFF】にしてください(→41ページ)。
液晶画面がつかない	1) 液晶画面表示がOFFになっている。 2) 【ビデオ出力端子】にビデオコードが接続されている。	1) 【液晶画面ON / OFF】を押す。 2) ビデオコードを抜いてください。	

## 画面に表示されるメッセージ

ERROR	通信中にエラーがあったときに表示されます。もう一度ケーブルの接続や、カメラのモードを確認してから行なってください。
FULL	ムービー撮影できないときに表示されます。ムービー撮影を行ないたい場合は、いらない画像を削除するか、画質変換の操作を行なってください(50、53ページ)。
MEMORY ERROR #1, #3 CONSULT THE OWNER'S MANUAL	<p>本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。下記の操作により、メモリーエラーの解除ができる場合もあります。</p> <p><b>重要!</b> 下記の操作を行なうと撮影した内容がすべて消えてしまいます。撮影内容を消去したくない場合は、パソコンソフトを使用して画像の保存を行なってから操作してください。</p> <p>1. 【ZOOM】と【MENU】を同時に押します。</p> <p>2. "SYSTEM RESET"画面が表示されたら、【シャッター】を押します。</p>

SYSTEM RESET
YES SHUTTER
NO CALL TECH SUPPORT

SYSTEM RESET
ALL DATA WILL BE ERASED
REALLY DELETE?
YES SHUTTER
NO CALL TECH SUPPORT

	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムリセットを中止したい場合は電源を切ってください。</li> <li>システムリセットの操作を行なうときは、ACアダプターを使用するか、新品のアルカリ電池または、リチウム電池を使用してください。弱った電池を使用してシステムリセットの操作を行ない、システムリセット中に電源が切れるとサービスステーションに持ち込み、調整が必要になります。</li> <li>システムリセットを行なっても、「MEMORY ERROR」が繰り返し発生する場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。</li> </ul> <p>3. "SYSTEM RESET"最終確認画面が表示されたら、【シャッター】を押します。</p> <p>4. 【シャッター】を押すとシステムリセットが開始され、システムリセットが終了すると通常の画面に戻ります。</p>
MEMORY ERROR #2, #4 CONSULT THE OWNER'S MANUAL	本体の内蔵メモリーに異常が発生した場合に表示されます。この表示が出た場合は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。(70ページ)
MEMORY FULL	撮影可能枚数を使い切りました。撮影を行ないたい場合は、一度削除または、画質変換の操作を行なう必要があります(50、53ページ)。
NO IMAGE	まだ何も撮影していない状態、あるいは撮影内容をすべて削除して本機に画像が1枚もない状態では、画面にこのように表示されます。
REMAINING	現在の画質モードでは撮影できる枚数がなくなり、他の画質モードに切り替えるとまだ撮影できることを示しています。画質モードを切り替えるか、一度削除の操作または、画質変換の操作を行なう必要があります(50、53ページ)。

65

## 主な仕様 / 別売品

## 主な仕様

記録形式	JPEG準拠*1 *1 パソコンリンクソフトにより、CAM / JPEG/TIFF等のファイル形式で出力される			
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー: 8 MB			
標準記録枚数 / 画像ファイル枚数 / パソコン出力画素数	撮影画質	標準枚数	ファイルサイズ	出力画素数
	超高精細	16枚	約450KB/枚	1280×960
	高精細	30枚	約225KB/枚	1280×960
	標準	57枚	約113KB/枚	1280×960
	エコノミー	88枚	約64KB/枚	640×480
消去	1画面単位、全画面一括消去可能(メモリープロテクト機能付き)			
撮像素子	1/3インチCCD (総画素数:131万画素、有効画素数:125万画素)			
パソコン出力画素数	1280×960 / 640×480			
レンズ	F2.8 f=5.47mm (35mmフルサイズカメラの36mm相当)			
絞り	レンズシャッター兼用オートアイリス F2.8 /4.5.6/8/11/16			
撮影可能距離	標準:0.3m、接写:10cm (レンズ保護フィルター表面より)			

66

測光方式	撮像素子によるTTL中央重点測光
露出制御方式	プログラムAE
焦点調節	位相差バッドオートフォーカス(マニュアルフォーカス切り替え可能) 固定焦点マクロポジション付き
露出補正	-2EV ~ +2EV(1/2EV単位)
シャッター形式	CCD電子シャッター/メカシャッター併用
シャッタースピード	1/8 ~ 1/500秒
ホワイトバランス	自動/固定(電灯下、蛍光灯下、屋外)
セルフタイマー	作動時間10秒
撮影関連機能	単写撮影、セルフタイマー撮影、ムービー撮影、パノラマ撮影、タイトル撮影、接写撮影
内蔵フラッシュ	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減切替可能
モニター	ファインダー兼用1.8型ハイパーアモルファスシリコンTFRT低反射カラー液晶
ビデオ出力	NTSC標準方式準拠/PAL標準方式準拠
入出力端子	デジタル入出力端子、ビデオ出力端子、外部電源端子
電源	乾電池×4(単3型アルカリ電池、リチウム電池ニッケル水素蓄電池(東芝電池(株)製:TH-3A)、ニッケルカドミウム蓄電池(三洋電機(株)製:N-3US))/ACアダプター

## 主な仕様 / 別売品

## 別売品

- ACアダプター  
AD-C620J
- パソコンリンクソフト  
Windows版 LS-10W  
Macintosh版 LS-11M
- パソコンリンクケーブル  
NEC PC-9801/9821シリーズ用:QC-1N  
IBM PC/AT互換機/PC98-NXシリーズ用:QC-1D  
Macintosh用:QC-2MまたはQC-3M  
必ず、P60の「パソコンリンクケーブル、およびパソコンリンクソフトを使った接続」をお読みください。
- QVカラープリンター  
DP-300  
DP-8000  
DP-8800SX
- ビデオコード  
AV-C10

67

## 電池持続時間

以下の電池持続時間は、標準温度25℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間ではありません。低温下で使うと、電池持続時間が短くなります。

使用電池	単3型アルカリ電池 LR6	単3型リチウム電池 FR6
連続再生時	約120分	約210分
連続撮影時	約280枚撮影可能	約780枚撮影可能

アルカリ電池は松下電池工業(株)製、リチウム電池は富士写真フィルム(株)製の場合の数値です。

電池持続時間はメーカーによって異なります。

持続撮影枚数は、フラッシュを使用せずに撮影した場合の撮影可能枚数です。フラッシュの使用、電源ON/OFFなどの条件により数値は異なります。

サイズ	幅131mm×高さ69mm×奥行き43mm
質量	約250g(電池含まず)
付属品	ハンドストラップ、ソフトケース、アルカリ電池(LR6×4本)、取扱説明書(保証書付き)
消費電力	約7.6W

- 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。